

トルマリンソープができるまで

(杵練り透明石けん)

90日間

手間と愛情を たっぷりかけて

高品質のトルマリンソープをつくるためには、長い熟成期間が必要なうえ、全工程に熟練の技術が必要なため、大量生産やスピード生産はできません。

しかし、妥協のない品質管理のもと、業界最高水準の品質をお約束します。

1. 素地をつくる



油、脂肪酸、砂糖、グリセリン、アルコール、苛性ソーダを釜で炊き込み「石けん素地」をつくります。同じ配合でも、気温や湿度が違えば仕上がりに差が出るため、その日の釜の状態に合わせた調整が必要です。

2. 流し込み



釜で仕込んだ素地は、一晩寝かせてから丁寧にろ過し、「水冷杵」に入れて固めます。

3. 杵抜き & カット



石けんが固まったら杵から外し、ピアノ線や抜き型で一つずつ切り分けます。固まったばかりの石けんは柔らかくキズつきやすいため、作業には細心の注意が必要です。今も熟練の職人が手作業で行っています。

4. 1次乾燥



水分やアルコール分を抜くために、乾燥室で7~14日間寝かせます。あわてて乾燥させてヒビが入らないよう、室内の湿度は40~60度にキープ。温度と換気にも配慮しながら、石けんが変化する様子を見守ります。

5. 中間磨き & 成型



最初の乾燥を終えた石けんは、内部の水分が蒸発し、ひとまわり小さく変形しています。この石けんをサツとお湯にくぐらせて丁寧にタオルで磨いてツヤを出します。その後、プレス機で圧縮して形を整えます。

6. 2次乾燥



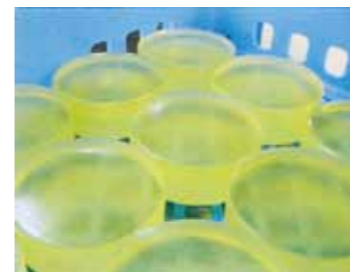
成型した石けんは再び乾燥室に入れ、さらに40~60日間じっくり熟成します。この工程で水分量は約27%、重量は約60%にまで引き締まります。アルコール分も抜け、原料のほのかな香りが際立ってきます。

7. 仕上げ磨き & 成型



湯にくぐらせて表面を拭いた後、表面にロゴなどをプレスします。これで見た目がよくなるだけでなく、より固く、溶け崩れにくくなるのです。さらに最後にタオルで磨き、透明石けん特有のツヤを引き出します。

8. 熟成



透明石けんは、長く熟成させるほど成分がよくなり、使い心地がよくなります。そこで、出荷前に最後の熟成期間をとり、水分量を約25%まで下げています。この工程を経ることで、より品質が高くなるのです。

9. 出荷



熟成を終えた石けんは、経験を積んだ検査員が、不ぞろいや色ムラ、微細なキズまで厳しくチェック。最後の検品をクリアした石けんだけが個包装され出荷されます。ここまで要する時間は約3か月に及びます。

「機械練り石鹸」と「杵練り石鹸」の違い

石鹸は製法から「機械練り石鹸」と「杵練り石鹸」に分けられます。

〈機械練り石鹸〉

その名前の通り、全工程を機械で作る石鹸のことです。材料を機械で練り上げ、そのまま機械で押し出し成型するので、大量生産ができコストも安く抑えられます。

〈杵練り石鹸〉

杵に流し入れて、時間をかけて冷やし固めて作る石鹸です。たくさんの人の手による作業が必要な工程を経て完成するため、どうしてもコストが高くなります。